

ウェルフェア イズ ラヴ

2026年2月26日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ ）

先日の「福祉新聞」に、厚生労働省が作成したカスハラ対策指針についての記事が掲載されていました。

[厚労省がカスハラ対策指針を策定 障害者の合理的配慮に留意求める - 福祉新聞 Web](#)

記事によると、カスハラの定義は、「顧客、取引先、施設利用者らによる社会通念上の許容範囲を超えた言動により、従業員の就業環境が害されるもの。」とのこと。

当事業所代表は、「社会通念上の許容範囲を超えた」の部分に曖昧さを感じています。顧客等によっては自身の表現のクセでいわゆる「かなり強めの言動」をしてしまう方もいると思いますし、受け取る従業員の耐性もそれぞれだと思います。

但し、記事に列記されているような行為（暴行、土下座の強要、性的要求、不当な損害賠償請求、SNS への悪評投稿をほのめかす発言）は例外なく、問題外と感じます。

顧客等の言い分に一貫性があるかどうか（真摯な苦情意見なのか、損害賠償請求や性的要求等の別の要求にすり替えていないか等）をしっかりと見極めることが大切ですね。

スタッフのヒトリゴト

一昨日、昨日とようやく全国的に「恵みの雨」が降りましたね。この「恵みの雨」で、香川県に発令されていた取水制限も一時的に解除されたので良かったです。私を含めて多くの方は、「雨よりは晴れが良い」方が大半ではないかとは思いますが、やはり何事も程度。時には「雨」も必要ですね。

LOVE のラブラブな実践

最近、いわゆる「(障害者の) 親なき後」に関する調査結果が多数報告されていますね。

調査によって微妙な違いはあるようですが、それでも 8 割以上の方が不安を感じているとのこと。

当事業所は、これに対する最も重要な対策は、「家族が元気なうちに、本人や家族に、継続的に関わってくれる支援機関と繋がっておくこと。」に尽きると思います。グループホームや障害者支援施設等の住まい探しや資金確保等も大切なことではありますが、それよりもまず「継続的に関わってくれる支援機関と繋がる」ことを優先して頂きたいと思います。それ以外の具体的な対策は、支援機関も交えて行えば良いことです。

そしてそれに加えて、「今の本人を（能力面を度外視して）最大限肯定すること」も大切と考えます。そうすることで、本人に安心感と自信が生まれ、結果的に本人の能力を高めることに繋がると思います。

勿論、香川県在住の方であれば当事業所も支援させて頂きますので、宜しければご相談頂ければと思います。ブログ記事でももう少し詳しく記しておりますので、宜しければご覧頂ければと思います。

具体的な対策よりも、まずは繋がること。 | 社会福祉士相談所 LOVE

県内の福祉イベント案内 他♪

高松市を拠点に活動されている、「NPO 法人 子育てネットひまわり」様が、4 月 19 日まで『#はじめの 100 カ月プロジェクト～「完璧な親なんていない」から始まる親子の育ち時間～』というテーマで、クラウドファンディングに取り組まれています。応援する・しないに関わらず、クラファン実施サイトに記された、想いのこもったメッセージだけでも、多くの方に読んで頂ければと思います。

#はじめの 100 カ月プロジェクト～「完璧な親なんていない」から始まる 親子の育ち時間～ | 公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第 1 201 号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待